



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 真部 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務広報部長 (氏名) 重光 誠 TEL 06-6131-5190

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	31,240	1.6	62	105.4	112	41.3	110	59.2
30年3月期第1四半期	30,757	0.8	30	29.3	79	8.4	69	26.6

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 61百万円 (58.1%) 30年3月期第1四半期 146百万円 (432.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	8.02	
30年3月期第1四半期	5.04	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	22,255	6,808	30.6
30年3月期	21,690	6,815	31.4

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 6,808百万円 30年3月期 6,815百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		5.00	5.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	0.7	340	4.7	470	4.9	390	6.7	28.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	13,774,819 株	30年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	49,891 株	30年3月期	49,870 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	13,724,942 株	30年3月期1Q	13,725,236 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外政治の先行きに懸念があるものの、輸出は持ち直しが続いているほか、企業収益や雇用情勢は改善傾向となるなど、緩やかながら回復基調となりました。

当水産流通業界におきましては、国際的な水産物需要の増加等に伴い仕入価格が上昇したほか、天候不順等により漁獲量が減少した影響で荷動きが低調に推移するなど厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は312億40百万円（前年同期比4億82百万円増）となりました。利益面では、営業利益は62百万円（前年同期比32百万円増）、経常利益は1億12百万円（前年同期比32百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億10百万円（前年同期比40百万円増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、天候不順等による不安定な漁獲状況や輸入品・養殖物の価格の高止まりなどの影響により国内の販売が伸び悩みましたが、国外への販売は堅調に推移したことにより、売上高は311億95百万円（前年同期比4億80百万円増）となりました。利益面では売上高の増加に加えて粗利率が改善したことにより売上総利益は17億18百万円（前年同期比85百万円増）となり、販売費の増加を吸収し、営業利益は1億7百万円（前年同期比33百万円増）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高は59百万円（前年同期比0百万円増）となりました。利益面では売上原価が増加したものの販売費及び一般管理費が減少したため営業利益は1百万円（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億65百万円増加し、222億55百万円となりました。これは商品及び製品が2億6百万円減少した一方で、現金及び預金が6億77百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて5億72百万円増加し、154億47百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が5億40百万円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7百万円減少し、68億8百万円となりました。これは利益剰余金が41百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が40百万円減少したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、平成30年5月15日付の「平成30年3月期 決算短信」にて公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,437	3,114
受取手形及び売掛金	9,598	9,662
商品及び製品	3,309	3,103
短期貸付金	300	300
未収消費税等	40	62
その他	126	190
貸倒引当金	△21	△22
流動資産合計	15,791	16,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	761	771
土地	2,162	2,162
その他(純額)	84	90
有形固定資産合計	3,008	3,024
無形固定資産	170	131
投資その他の資産		
投資有価証券	2,589	2,534
長期貸付金	280	280
破産更生債権等	677	680
固定化営業債権	829	827
繰延税金資産	15	10
その他	84	106
貸倒引当金	△1,756	△1,752
投資その他の資産合計	2,720	2,688
固定資産合計	5,898	5,844
資産合計	21,690	22,255

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,281	8,821
短期借入金	2,100	2,100
1年内返済予定の長期借入金	166	166
1年内償還予定の社債	500	500
未払金	407	431
未払法人税等	54	33
賞与引当金	143	41
その他	280	495
流動負債合計	11,934	12,589
固定負債		
長期借入金	166	166
繰延税金負債	308	261
再評価に係る繰延税金負債	251	251
役員退職慰労引当金	193	172
退職給付に係る負債	1,671	1,648
その他	348	357
固定負債合計	2,939	2,857
負債合計	14,874	15,447
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	2,721	2,762
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,551	5,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,018	978
繰延ヘッジ損益	14	5
土地再評価差額金	217	217
退職給付に係る調整累計額	13	13
その他の包括利益累計額合計	1,264	1,215
純資産合計	6,815	6,808
負債純資産合計	21,690	22,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	30,757	31,240
売上原価	29,117	29,514
売上総利益	1,640	1,726
販売費及び一般管理費	1,610	1,663
営業利益	30	62
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	30	31
受取賃貸料	35	36
貸倒引当金戻入額	—	2
その他	6	10
営業外収益合計	74	82
営業外費用		
支払利息	4	5
賃貸費用	17	20
その他	1	6
営業外費用合計	24	32
経常利益	79	112
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	80	112
法人税、住民税及び事業税	19	26
法人税等調整額	△7	△23
法人税等合計	11	2
四半期純利益	69	110
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	69	110

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	69	110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	△40
繰延ヘッジ損益	△7	△8
退職給付に係る調整額	1	△0
その他の包括利益合計	77	△48
四半期包括利益	146	61
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146	61
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	水産物販売事業	冷蔵倉庫等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,714	43	30,757	—	30,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	15	15	△15	—
計	30,714	58	30,773	△15	30,757
セグメント利益又は損失(△)	74	△0	73	△43	30

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△43百万円のうち、△41百万円は各報告セグメントに配分していない  
 全社費用であり、△1百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属し  
 ない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	水産物販売事業	冷蔵倉庫等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,195	45	31,240	—	31,240
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13	13	△13	—
計	31,195	59	31,254	△13	31,240
セグメント利益	107	1	109	△46	62

(注)1. セグメント利益の調整額△46百万円のうち、△46百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用  
 であり、0百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管  
 理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。